



2022.11.15&lt;計 2 枚&gt;

報道機関 各位

京都橋大学広報課

**エジプトから現役の救急救命士 10 名が来訪！****救急救命学科の学生とともに、病院前救急医療研修を実施****－多文化共生社会において、「命を明日につなぐ」合同研修－****研修日程：2022 年 11 月 21 日(月)、22 日(火)、23 日(水)、24 日(木)****研修会場：京都橋大学明優館 D102/D301 実習室**

京都橋大学では、11 月 21 日(月)、22 日(火)、23 日(水)、24 日(木)の 4 日間、エジプトから 10 名の救急救命士を迎え、「PEMEC:Prehospital Emergency Medical Evaluation and Care」に基づく、病院前救急医療研修を実施します。

この取り組みは、国士舘大学が 2018 年度より実施されている日本とエジプト・アラブ共和国の円借款貸付契約による「人材育成事業(エジプト・日本教育パートナーシップ)」(保険分野)に基づき、実施されるものです。本学での研修は、このカリキュラムの中で 7 日間行われる京都での研修の一環として、位置付けられています。

本学における講義・実習内容は、PEMEC に基づく傷病者観察・処置などを主なテーマとして、健康科学部救急救命学科の学生たちと共に受講していただきます。

本学が、本研修受け入れ機関となるのは、2022 年 5 月に続き 2 回目です。設置から 7 年目を迎える救急救命学科の学生たちには、高い救命技術と幅広い医学知識で、人と向き合い、地域社会・国際社会に貢献できる素養を身に付けてほしいと考えています。

国籍や言語、年齢、宗教、文化など様々に異なる人との交流を通して、多文化共生社会についてどのように自分たちの学びが役立っていくのか、「命を明日につなぐ」というスローガンのもとで、より広い視野で学ぶ契機にしたいと考えています。

## 記

**●病院前救急医療研修プログラムの本学におけるスケジュール****研修日時：11 月 21 日(月)9:00～16:00、22 日(火)9:00～12:00****23 日(水)9:00～16:30、24 日(木)9:00～16:30****研修会場：京都橋大学明優館 D102/D301**

研修内容：PEMEC に基づく傷病者観察および処置など

参加者：

- ・ 研修責任者：京都橋大学健康科学部救急救命学科講師・福岡範恭 (PEMEC 委員)
- ・ 研修担当：京都橋大学健康科学部救急救命学科 医師教員 4 名、救急救命士教員 7 名
- ・ エジプト国の救急救命士：10 名
- ・ 京都橋大学健康科学部救急救命学科 1～3 回生

(ご参考)

### 【PEMEC とは】

病院前救急医療(プレホスピタル)のうち、通報の段階で心肺停止なし・外傷なしの内因性疾病傷病者の観察・処置の標準化のため、策定されたアルゴリズムです。

PEMEC の目的は、内因性疾病傷病者の「防ぎ得た死亡と後遺症(Preventable mortality & morbidity)」を防ぐことにあります。PEMEC によって内因性疾病傷病者の病態理解および正確で迅速な重症度・緊急度判定が促進されるとともに、評価に基づいた適切な救急救命処置が可能となります。「救急医療の初期対応標準化」という特性から、PEMEC は心肺停止傷病者や外傷傷病者に対する初期救護アルゴリズムとしても使用できるよう配慮されており、各標準アルゴリズムの「入口」としての機能も果たしています。したがって、広い意味では、PEMEC は全ての傷病者に適用することができます。

なお、本学には PEMEC マスターインストラクターが 5 名、インストラクターが 5 名在籍しています。

### 【研修担当講師プロフィール】

#### ○福岡範恭(ふくおか・のりやす)

所属:京都橘大学健康科学部救急救命学科

職種:講師

専門分野:救急救命学, 組織心理学 (キーワード:救急救命士の自己啓発とモチベーション、ストレス・バーンアウト、救急救命士の職場環境、バイスタンダーストレス)

研究テーマ:

- ・救急救命士の職場環境、ストレス、バーンアウトに関する研究
- ・救急救命士の生涯教育に関する研究

### 【2022 年 5 月第1回目受け入れ研修の様子】



以 上

---

●内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学 広報課 担当:花立 TEL.075-574-4112